

証券コード:7472

“百年の信頼を、未来につなげる”

株式会社鳥羽洋行  
2022年3月期  
3Q決算説明補足資料

2022年2月8日(火)

- I . 2022年3月期 3 Q決算について
- II . 今後の戦略及び見通し

# I . 2022年3月期 3 Q決算について

## <2022年3月期3Q 損益計算書の概要>

(単位：百万円)

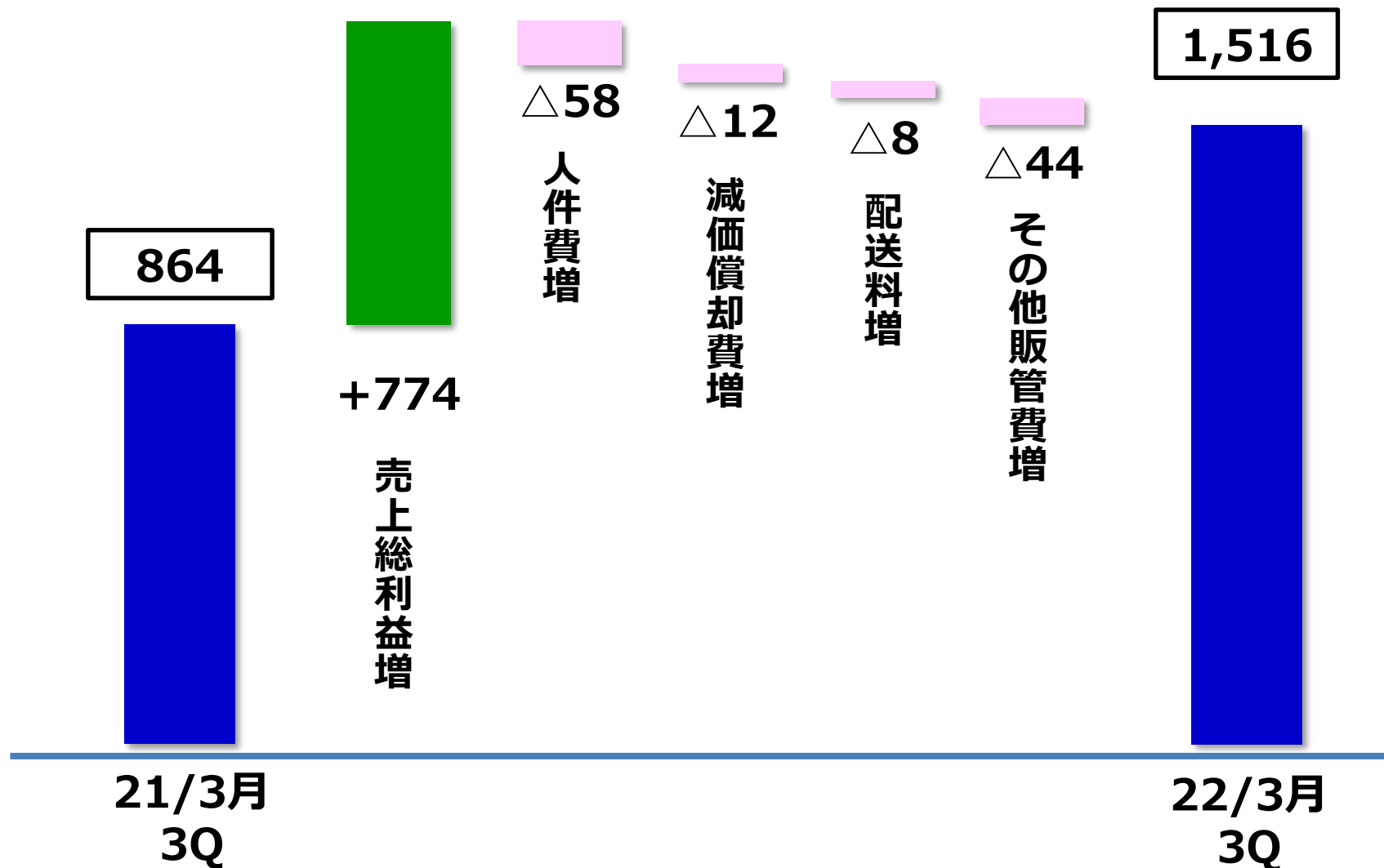
	21/3月期 3Q	22/3月期 3Q	前期比 (増減率)	備 考
売 上 高	17,880	21,905	22.5%	
営 業 利 益	864	1,516	75.4%	・売上総利益率は+0.9 P ・販管費は前期比+7.4%
営 業 利 益 率	4.8%	6.9%	+2.1P	
経 常 利 益	956	1,585	65.8%	
経 常 利 益 率	5.3%	7.2%	+1.9P	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	659	1,119	69.7%	
四半期純利益率	3.7%	5.1%	+1.4P	

### Point !

- 売上高では、電気・機械製造業向け販売が、前年同期を大きく上回る
- 半導体や部品、材料不足の影響により自動車・車載部品向けは伸び悩む

## <営業利益増減分析>

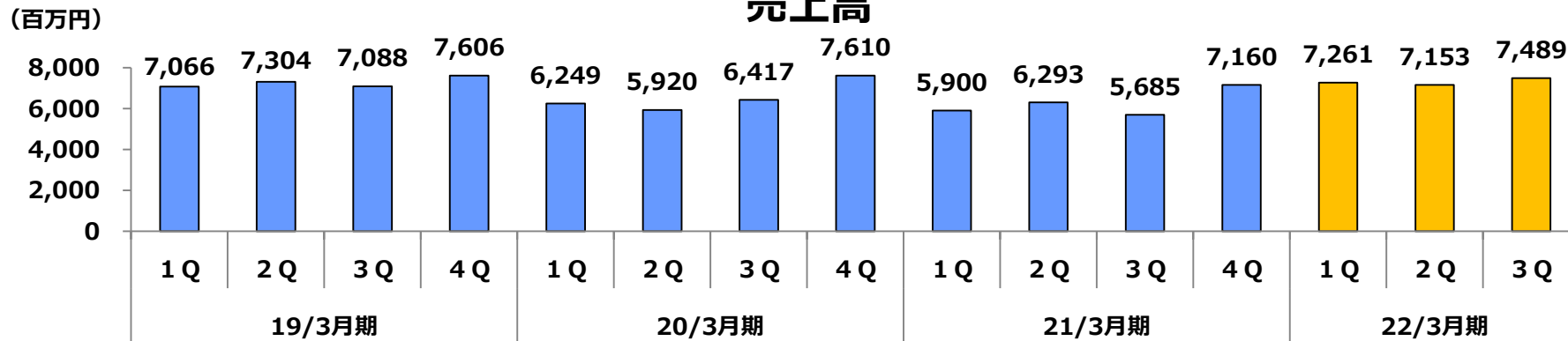
(単位：百万円)



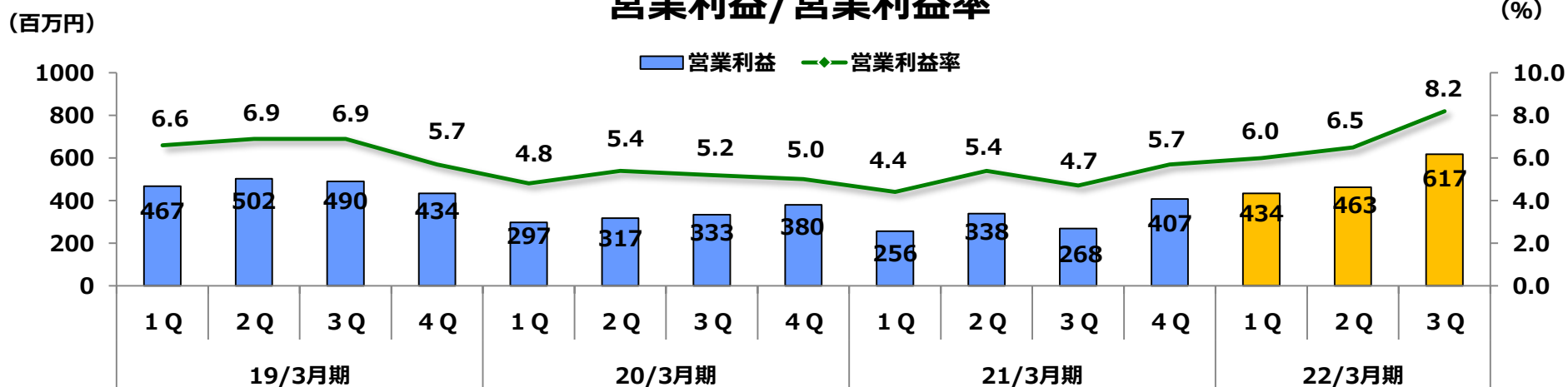
※数値は百万円未満を切り捨てて表記しております。

## <四半期毎の売上高・営業利益の推移>

### 売上高



### 営業利益/営業利益率

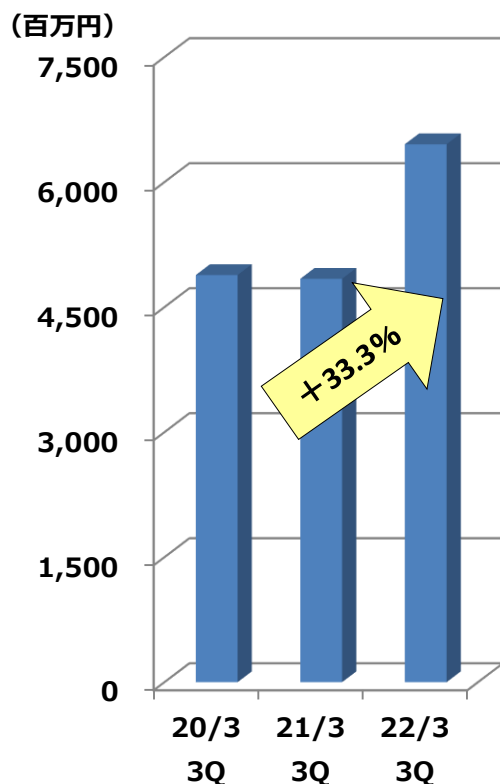


### Point !

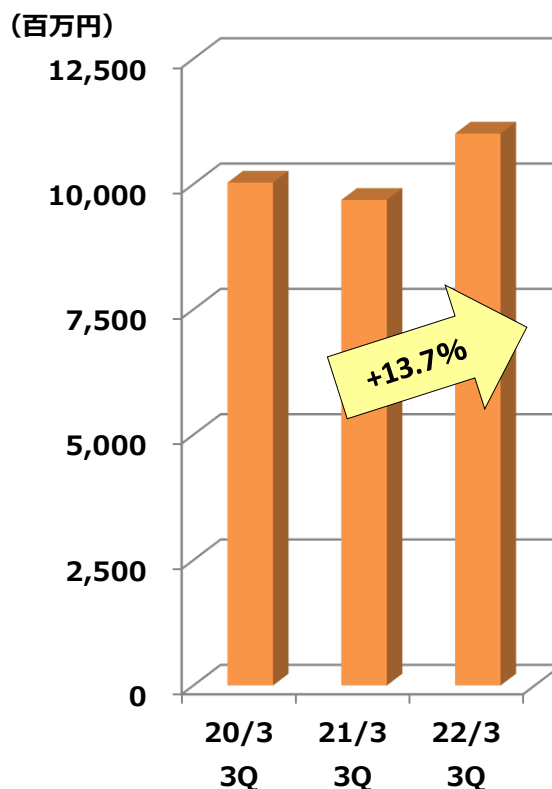
- 3Q累計期間で過去最高売上となる
- 電子部品や半導体関連の得意先からの受注が好調に推移

## <部門別売上高推移>

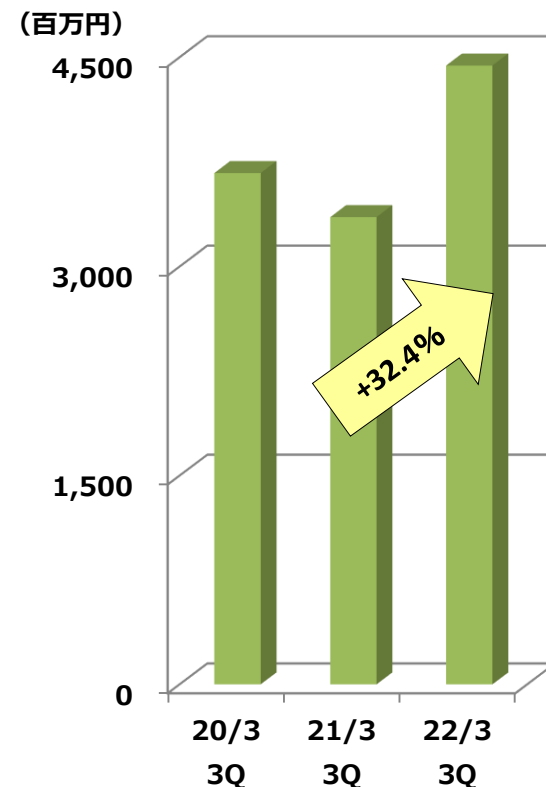
### 制御機器



### F A 機器



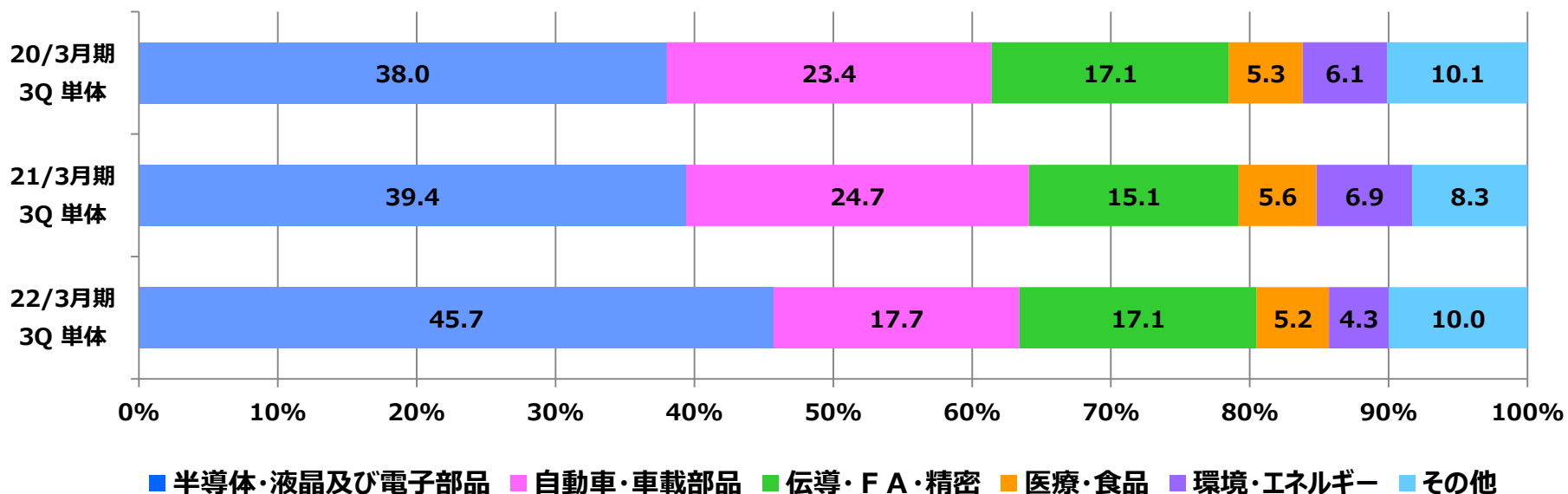
### 産業機器



### Point !

- 【制御機器】半導体及び半導体製造装置や電子部品関連の得意先からの受注が好調を維持
- 【F A 機器】国内自動車・車載部品関連向けの出荷は前期に比較して減少したものの、電子部品関連向け得意先への販売が増加。海外販売も好調を維持
- 【産業機器】半導体に関連する得意先へろ過フィルターの販売は、引き続き好調を維持  
自動車・車載部品関連の一部得意先へ乾燥炉関連やナットランナーの販売が増加

## <業種別売上構成比（単体）推移>



### Point !

#### <半導体・液晶及び電子部品>

半導体市場及びスマートフォン等のデバイス関連の市場活況を受けシェアが拡大（+6.3 P）

#### <自動車・車載部品>

半導体・部品不足の影響による自動車減産の影響を受け、一部得意先からの受注が減少しシェア縮小（△7.0 P）

#### <伝導・F A・精密>

半導体・液晶製造装置や工作機械関連の得意先からの受注が増加しシェア拡大（+2.0 P）

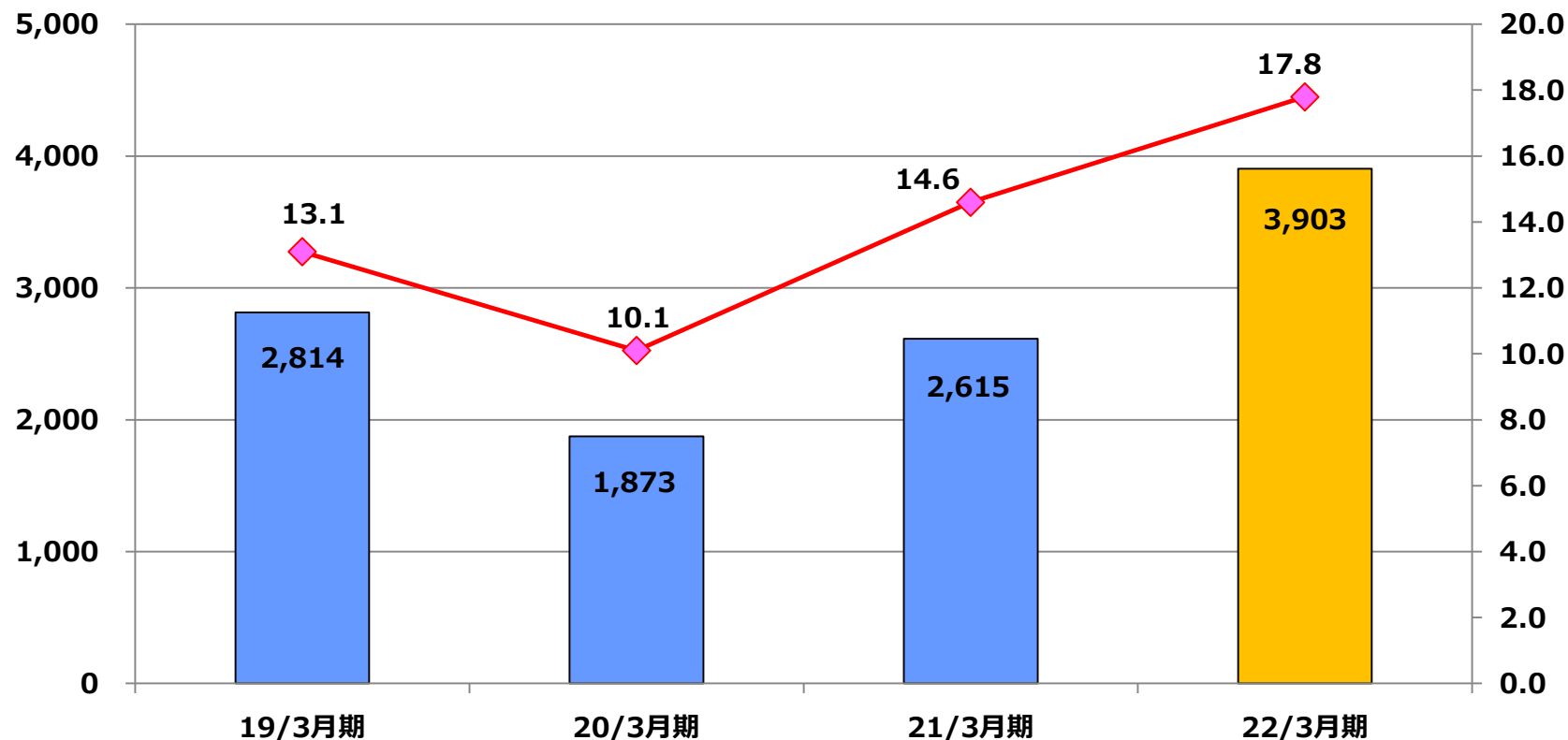


## <海外売上高・海外売上比率>

(単位：百万円)

■ 海外売上高 ◆ 海外売上比率

(単位：%)



### Point !

- スマートフォン関連得意先向けの販売が増加したことにより鳥羽（上海）貿易有限公司の売上が増加したことが主因
- 為替（円安）により押し上げ効果

## ＜2022年3月期 3Q 貸借対照表の概要＞

(単位：百万円)

	21/3月末	構成比 (%)	21/12月末	構成比 (%)	備 考
流動資産	20,786	76.3	22,598	77.0	
現金・預金	10,173	37.4	10,460	35.6	
受取手形・売掛金 ※1	10,163	37.3	11,583	39.4	
商品	368	1.4	490	1.6	
固定資産	6,443	23.7	6,733	22.9	
資産合計	27,230	100.0	29,331	100.0	
流動負債	8,397	30.8	9,578	32.6	
支払手形・買掛金 ※2	7,596	27.9	8,522	29.0	
固定負債	471	1.7	561	1.9	
負債合計	8,869	32.6	10,139	34.5	
純資産合計	18,361	67.4	19,191	65.4	
負債純資産合計	27,230	100.0	29,331	100.0	

(※1) 電子記録債権を含む

(※2) 電子記録債務を含む

## Point !

- 構成比に大きな変化はございません。

## Ⅱ． 今後の戦略及び見通し

## <国内の市場環境について>

コロナワクチン普及率の増加等により持ち直しつつあった個人消費は、変異株の流行によって落ち込みが予想され、国内経済の先行きは不透明であるものの、製造業の設備投資は堅調で推移しており、好調が維持していくものと予想しております。

- ◆ 半導体及び半導体・液晶製造装置業界および電子部品業界  
世界的な半導体不足、D Xや5 Gの普及等により半導体需要の高まりは継続しており、今後も好調を維持していくものと予想しております。
- ◆ 自動車・車載部品業界  
半導体需給のひっ迫や、コロナの影響による東南アジアを中心としたサプライチェーンの混乱等から自動車の減産を強いられておりますが、生産台数の正常化や設備投資は、徐々に回復していくものと予想しております。
- ◆ 自動化機器・装置業界  
電気自動車（EV）や半導体等、あらゆる産業において自動化機器・装置の需要が増加。人手不足による生産性向上のため、設備投資意欲は引き続き増加するものと予想しております。

## <海外の市場環境について>

### ◆ 米国経済

コロナ変異株の感染拡大やFRBのインフレ対応による金利引き上げ等により、米国経済の回復は一時的に減速したものの、足元の設備投資は堅調であり、経済の回復基調は継続していくものと予想しております。

### ◆ 欧州経済

コロナ変異株の感染拡大により、新規感染者数の過去最高記録を更新する状況が続いているものの、欧州各国は経済活動に配慮した対応に注力しており、消費者マインドの低下等の影響は限定的と考えております。今後も経済正常化への動きは継続していくものと予想しております。

### ◆ 中国経済

ゼロコロナ政策による厳格な行動制限や恒大問題等の不安材料から、回復基調であった景気は一時減速したものの、ハイテク製造業界は好調を続けており、同製造業界への設備投資は堅調に推移していくものと予想しております。

## <2022年3月期の戦略>

### ◆次世代の柱となるユーザー開拓

- ▶ 5G 関連潜在需要の取り込み  
半導体、電子部品、CASE、スマートフォン、基地局、ゲーム等に関連する得意先
- ▶ 三品業界など自動化が進んでいない得意先への協働ロボット等、F A 機器の販売を積極的に展開

### ◆装置・システム案件の更なる拡販

- ▶ 単品販売から製造ラインの自動化まで、システムインテグレーション事業として拡販

### ◆半導体向けろ過フィルターやEビジネスでの売上拡大

- ▶ 専任担当者の増員等を検討し拡販

### ◆新商材の発掘

- ▶ 新型 A G V、新規協働ロボット等

### ◆海外拠点との連携強化し売上拡大

- ▶ ベトナム現地法人の早期黒字化支援
- ▶ 新規進出拠点検討

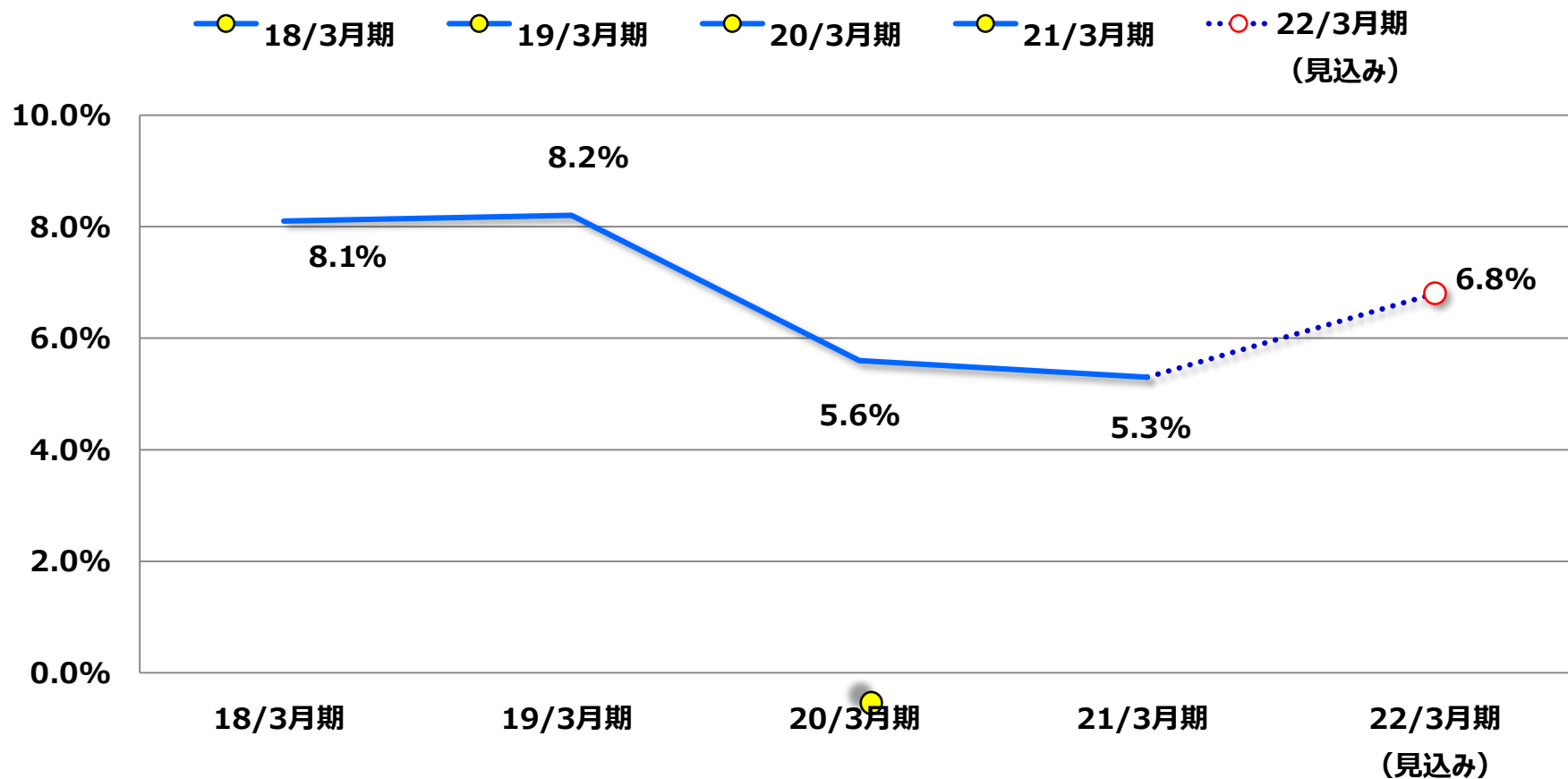
## <2022年3月期の業績予想>

(単位：百万円)

	21/3月期 (実績)	22/3月期 (予想)	前期比 (増減率)
売上高	25,040	28,500	13.8%
営業利益	1,272	1,720	35.2%
営業利益率	5.1%	6.0%	+0.9 P
経常利益	1,384	1,810	30.7%
経常利益率	5.5%	6.4%	0.9 P
親会社株主に帰属する 当期純利益	949	1,270	33.8%
当期純利益率	3.8%	4.4%	+0.6 P

- 2021年11月4日に業績予想の修正を開示しております。

## <ROEの推移>



■ ROEは**8.0%水準**への早期回復を目指す



この資料には、2022年2月8日現在における弊社の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

### [問い合わせ先]

株式会社 鳥羽洋行

管理本部総務グループ I R 担当

住 所：〒112-0005

東京都文京区水道 2 丁目 8 番 6 号

電話番号：03-3944-4031

F A X：03-3944-4091

E メール：kanri-01@toba.co.jp